

平成30年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で4年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第5回、第6回研修会

- 日時 平成30年8月21日（火）、22日（水）9：50～
- 場所 石巻市遊楽館文化ホール
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



21日は、万石浦小学校教諭 菅原智先生から実践発表がありました。

22日は、万石浦中学校教諭 千葉 僚先生から実践発表がありました。



☆研修内容

- 21日午前：MLA推進に係る教頭・ミドルリーダーの役割
- 21日午後：反社会行動・非社会的行動の理解
- 22日午前：MLA総論
- 22日午後：MLAを支える4つの理論



＜受講者の声＞

- ◇ 具体的な本校の課題を、本日参加したリーダー層と共有することができたことが一番嬉しい内容でした。
- ◇ 子ども達にとってより楽しく、学びの深まる学校を目指しながら、教職員同士も楽しく仕事ができ、若い先生もやりがいを感じられるようにしていきたい。
- ◇ 学校組織のリーダーとして、未来の子どもの姿、教職員の姿を考え抜いていかなければならないと痛感しました。
- ◇ 万石浦小の取組が素晴らしいと思いました。何とんでも子どもの姿に表れている。先生方に褒めてもらい、評価してもらったら子どもたちはうれしくなり、もっと頑張ろうという気持ちになるなと感じました。
- ◇ 「愛着の修復」ということが私たちの大事な仕事の一つなのだと感じました。
- ◇ 学力の変化について、チームとして一致して指導を続けていかなければ良くならない。
- ◇ 万石浦中の発表を聞き、教職員が一枚岩になって学校目標の具現化を目指すことが大変参考になりました。
- ◇ 自分に置き換えてみて、子どもの感情を考えていくこと、教師自身が相手（子ども）の気持ちや背景を考えて対応していくことを確実に行っていかなければいけないと分かった。
- ◇ 「生徒指導は、能力開発。そのためのプログラムが必要だ」という指摘に納得させられた。
- ◇ SEL、PBIS、協同学習、ピア・サポートそれぞれ取り組んでいるものの、偏りがあり、改善が必要だと感じました。SELの重要性、理論、実践を再確認し、2学期の生徒指導に生かしたい。

